

2017年4月1日～2020年12月31日の間に 当科において腹部ステントグラフト内挿術の治療を受けられた方 及びご家族の方へ

「腹部大動脈瘤に対する塞栓術を併施したステントグラフト内挿術の短中期治療成績～
禁煙と喫煙での治療成績比較～」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院心臓血管外科	兼務レジデント	栗田 憲明
研究分担者	川崎医科大学心臓血管外科学	教授	種本 和雄
	川崎医科大学心臓血管外科学	特任教授	金岡 祐司
	川崎医科大学心臓血管外科学	准教授	田淵 篤
	川崎医科大学心臓血管外科学	講師	柚木 靖弘
	川崎医科大学生理学1	特任講師	渡部 芳子
	川崎医科大学心臓血管外科学	講師	赤木 大輔
	川崎医科大学心臓血管外科学	講師	山澤 隆彦
	川崎医科大学心臓血管外科学	臨床助教	田村 太志
	川崎医科大学心臓血管外科学	臨床助教	山根 尚貴

1. 研究の概要

禁煙により動脈硬化性疾患を回避し、長期生存が得られると言われています。逆に喫煙によって動脈瘤内の壁在血栓増多によって下腸間膜動脈や腰動脈の閉塞率が上昇し、腹部大動脈瘤(AAA)に対するステントグラフト内挿術(EVAR)術後のType II エンドリーク(瘤内への血流漏れ)が減少するとも言われています。また喫煙指数が増加するごとに肺癌罹患リスクや死亡率が上昇します。AAAに対するEVARにおいて禁煙と喫煙がType II エンドリークや瘤拡大に寄与するか短中期成績にて比較検討します。

2017年4月1日より2020年12月31日までにAAAもしくは腸骨動脈瘤に対し、EVAR施行時に同時に下腸間膜動脈(IMA)や腰動脈(LA)の塞栓を併施した140名の患者さんを対象とし、never smoker(喫煙未経験者；N群)37名、former smoker(元喫煙者；F群)82名、current smoker(喫煙者；C群)21名に分類し、その治療成績を比較検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

当院で2017年4月1日から2020年12月31日までに腹部大動脈瘤(AAA)もしくは腸骨動脈瘤に対し、ステントグラフト内挿術(EVAR)施行時に下腸間膜動脈(IMA)や腰動脈(LA)の塞栓を併施した140名の患者さんを対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024年12月31日

3) 研究方法

2017年4月1日から2020年12月31日の間に当院において腹部大動脈瘤(AAA)もしくは腸骨動脈瘤に対し、ステントグラフト内挿術(EVAR)を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療成績改善の方法について調べます。

4) 使用する情報の種類

電子カルテを用いて、患者背景である年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、副作用等の発生状況や手術画像などを使用致します。

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学心臓血管外科学研究室内のパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書及び個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年10月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 心臓血管外科

氏名： 栗田 憲明

電話：086-462-1111 内線 44421（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-7897

E-Mail：maisenn0724@yahoo.co.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。